

# 大学正課体育の授業に関する研究 (その3)

—正課体育の成績評価と授業効果との関連について—

木原 資裕, 小原 晃, 松下 雅雄

坂東 隆男, 外川 重信

## Study on Teaching of University Regular Physical Education Class ( III )

— relationship between effect of instruction  
and the evaluating  
grades in physical education class —

Motohiro Kihara, Akira Obara, Masao Matsushita,  
Takao Bandou and Shigenobu Sotokawa

### Abstract

The purpose of this study was to investigate the relationship between the consciousness of students toward the effects of instruction and the evaluating grades.

To investigate students' consciousness, the questionnaire named "a survey on the effects of physical education class" was distributed during the end of Jan. to the beginning of Feb. 1984. The data of this questionnaire were statistically analyzed with the data of the evaluating grades.

The results were summarized as follows :

- 1) In the regular course, the number of evaluating "superior" gradually decreased 64 % in the first year, then 60% in the 2nd year and 58% in the 3rd year, but the number increased 63% in the 4th year. The number of evaluating "inferior" gradually increased with advancing school year; 3 % (1st), 9 % (2nd), 9.5% (3rd) and 9.6% (4th)
- 2) The more organized the form of the sport activities (freely, in group and in events), the more the positive response of the students to "intention to practice or participant in it" decreased in spite of the evaluating grades. Especially, the students who received "inferior" did not show the positive response to "intention to participation in sport events".
- 3) The students who received "superior" all in 4 units showed the constant positive

response to "improvement of motor skill" in each school year. But the students who received "failure" showed that the positive response to increased with advancing school year.

- \* "superior" —evaluated score 80- /100.
- "fair" —evaluated score 70-79/100.
- "inferior" —evaluated score 60-69/100.
- "failure" —evaluated score -59/100.

## I 緒言

わが国の社会・文化的風土の中には、日本的な平等主義ともいえる国民感情があり、人と人との間に表面きって差をつけることをきらう「評価拒否」的な、伝統的なものが強く存在しているようである。<sup>(6)</sup>しかし、一方では社会のあらゆる場面において、結果としての「成績」が非常に重視されていることも事実である。また、教育の場面においては、指導はするものの評価がなおざりにされる傾向が強く、結果として、指導効果を十分あげることが困難になっているとの指摘もなされている。<sup>(3)</sup>

評価は、指導者にとっては、自己の用いた指導方法の適否の判断とその改善の資料であり、そして、学習者にとっては、自己の学習法の適否の判断とその改善の資料を得るためにあるといえよう。<sup>(3)</sup>しかし、これまで、大学体育の成績評価に関する実態報告も、また、その実証的研究もほとんどなされていない。そこで、筆者らは、大学の正課体育をより充実した、より適切な指導が行える場とするためには、正課体育における成績評価の実態と授業の効果に対する学生の意識の把握が必要であると考えた。

よって、本研究は、大学正課体育における成績評価と授業効果に対する学生の意識との関連を把握することを目的とするものである。

## II 研究方法

筆者らは、昭和59年1月下旬から2月上旬にわたって、「体育授業の効果に関する調査」(161ページ参照)を行い、有効な標本として1085標本を回収した。その第1次報告は、「大学体育研究第6号」<sup>(5)</sup>に行なっている。今回の研究では、この1085名の学生のこれまでの大学正課体育の成績評価に関するデータと、先の「体育授業の効果に関する調査」における各個人のデータとの関連から、成績評価と体育授業の効果に対する学生の意識との関係を把握しようとした。

また、筑波大学学群履修規程には、「体育」は、入学した年次から4年間にわたって履修し、1年につき1単位を修得するものとしていいる。<sup>(11)</sup>その評価は、授業の担当教官が、その試験結果のほか履修状況等を加味して行なっている。<sup>(10)</sup>なお、本研究では以下の区分にしたがって、考察をすすめることにする。

「よい」……80点～100点

「ふつう」……70点～79点

「ややおとる」……60点～69点

「おとる」……59点以下

## III 結果と考察

### 1. 成績評価の実態

(1) 定時コースにおける成績評価について

定時コースにおける成績評価の実態については、4年間にわたって定時コースを履修し、

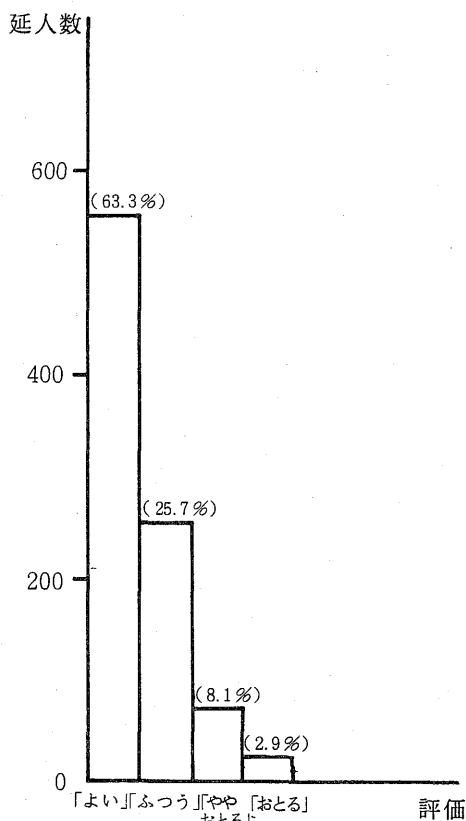


図1 4年次生における定時コースの成績評価

かつ、「体育授業の効果に関する調査」を受けている4年次生(222名)を対象を限定して考察した。

図1は、4年次生における4年間の定時コース成績評価の累積である。「よい」と評価された者の割合は63.3%、「ふつう」と評価された者の割合は25.7%であり、全体の約9割が、「よい」か「ふつう」の成績評価を受けていることがわかる。

(2) 定時コースにおける4年間の成績評価の変化について

図2は、定時コースにおける4年間の各成績評価の割合を図示したものである。「よい」あるいは、「ふつう」と評価されたものの学年ごとの推移してみると、1年次では95%、2年次では87.5%、3年次では88.7%、4年次では86.3%である。1年次の成績評価が最よいことがわかる。

## 2. 成績評価の授業効果

(1) 成績評価と授業効果との関連について

図3は、成績評価別に、授業効果に対する各質問の応答結果を示したもののうち、有意

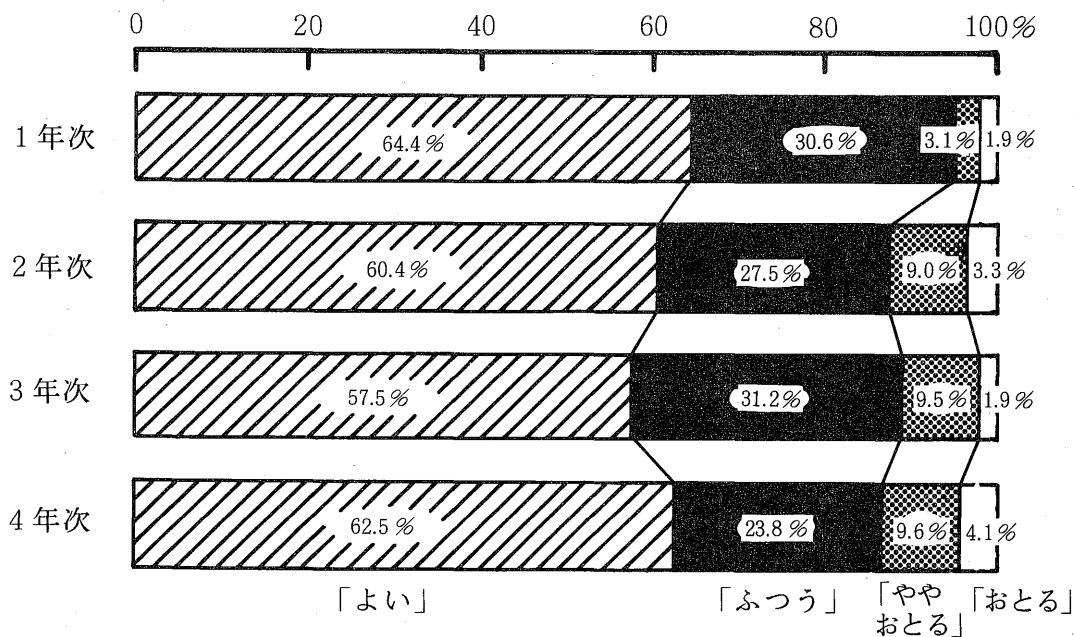


図2 4年間にわたる定時コースの成績評価の変化

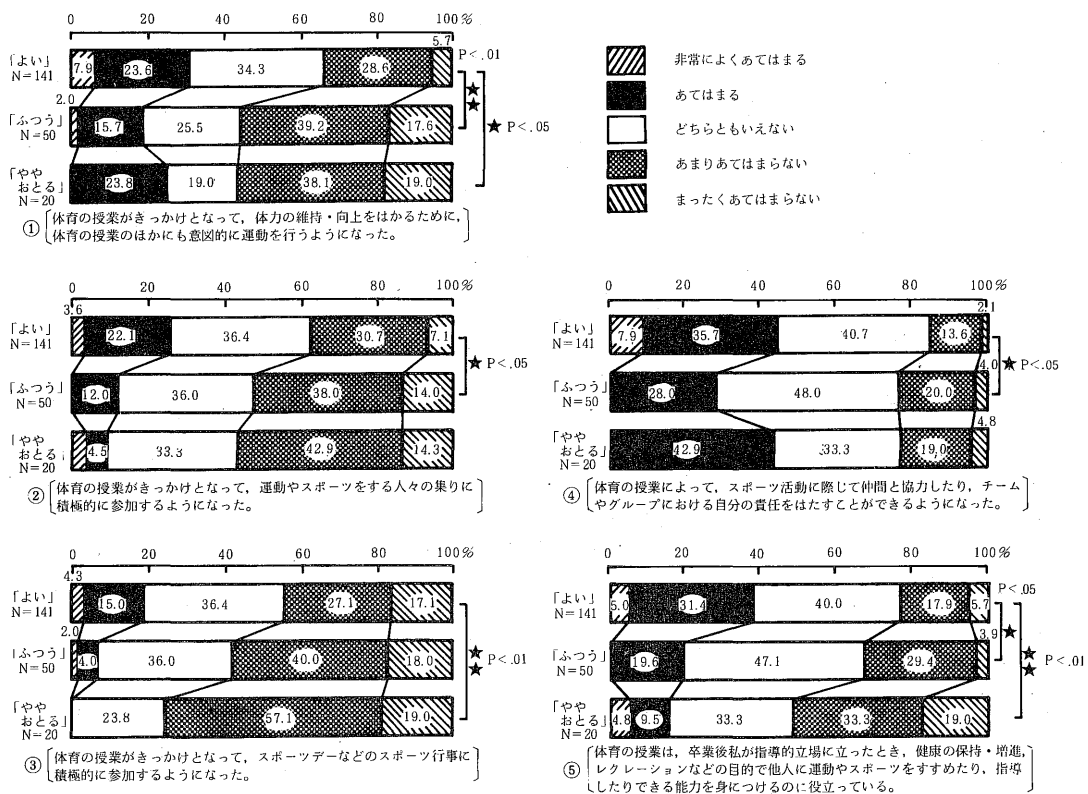


図3 成績評価と授業効果に関する応答

な差が見られる項目を表わしたものである。

①「体育授業がきっかけとなって、体力の維持・向上をはかるために、体育の授業のほかにも意図的に運動を行うようになった。」においては、「よい」と評価された者は、肯定的な応答が31.5%、否定的な応答が34.3%とほぼ同じ割合である。しかし、「ふつう」および「ややおとる」と評価された者においては、否定的な応答がそれぞれ、56.8%と57.1%であり、肯定的な応答よりも否定的な割合が多くなっている。又「ややおとる」においては「非常によくあてはまる」という強い肯定を示す者がまったく見られなかった。

②「体育の授業がきっかけとなって、運動やスポーツをする人々の集りに積極的に参加す

るようになった。」においては、肯定的な応答は、「よい」では25.7%、「ふつう」では12.0%、「ややおとる」では9.3%と成績評価が低くなるにつれ、肯定的な応答の割合が低くなっている。

③「体育の授業がきっかけとなって、スポーツデーなどのスポーツ行事に積極的に参加するようになった。」においても、肯定的な応答の割合は「よい」では19.3%、「ふつう」では6.0%「ややおとる」では0%と、成績評価が低くなるにつれ、肯定的な応答の割合が低くなっている。

①.②.③はともに、授業をきっかけに運動するようになったかどうかを質問しているわけであるが、①では、具体的な事例なしに、

漠然と運動するようになったかどうかを質問している。それに対して、②では、「人々の集りに積極的に参加」として、①よりも明確なスポーツ集団への参加の意志の有無を問うている。さらに、③では、「スポーツデーなどのスポーツ行事に積極的に参加」として、具体的にプログラム参加への状況を問うている。これら①、②、③が示す値をみると、「ややおとる」と評価された者の肯定的に示す割合が、①では23.8%，②では9.3%，③では0%と著しく減少していることが目につく。「よい」の評価された者も、①では31.5%，②では25.7%，③では19.3%と減少しているものの、その減少の割合は、「ややおとる」と評価された者よりも少ない。これらの結果から、授業がきっかけとなって、運動するようになったという漠然としたレベルから、具体的に集団やプログラムへ参加したかどうかというレベルになると、「ややおとる」と評価された者は、そこまで到達していないと考えられる。「よい」と評価された者も同様の傾向をなすが、具体的なプログラムへの参加レベルにおいても、授業をきっかけにそれらに参加していると応答した者が約20%いる。

しかし、①、②、③を全体的にみれば、否定的に回答している者の割合が多く、授業の効果がすぐに自主的活動となってあらわれてくることの難かしさを示しているといえよう。

④「体育の授業によって、スポーツ活動に際して仲間と協力したり、チームやグループにおける自分の責任をはたすことができるようになった。」においては、肯定的に回答した者の割合が、「よい」では43.6%，「ふつう」では28.0%，「ややおとる」では42.9%であり、逆に否定的な回答をした者の割合は、「よい」では15.7%，「ふつう」では24.0%，「ややおとる」では23.8%であり、これらはともに、肯定的な回答の方がより高い割合を示している。この「ややおとる」と評価された主な根拠が、出席率なのか、学習態度なのか、技能

水準なのかは明らかではない。しかし、「ふつう」よりも低い評価を受けた場合であっても、授業の効果を「ふつう」と評価された学生以上に意識している者の存在があることを認識しておく必要があろう。このことを前述した①についても同様であると考えられる。

⑤「体育の授業は、卒業後私が指導的立場に立ったとき、健康の保持・増進、レクリエーションなどの目的で他人に運動をすすめたり、指導したりできる能力をつけるのに役立っている。」においては、「よい」と評価された者は、肯定的な回答が36.4%，否定的な回答は23.6%であり、肯定的な回答の割合が多い。「ふつう」と評価された者は、肯定的な回答が19.6%，否定的な回答が33.3%であり、「ややおとる」と評価された者には、肯定的な回答が14.3%，であり、否定的な回答が52.3%である。これら「ふつう」「ややおとる」と評価された者には、否定的な回答の割合が多い。これらの結果から「よい」と評価された者の中には、卒業後、授業で修得した技能を周囲の人々の中で、生かしていきたいという意識に、授業の影響がかなりあらわれているといえよう。しかし、「ややおとる」と評価された者は、過半数が否定的な回答をしており、これらの学生がスポーツ場面において指導性を発揮することは、かなりむづかしいといえよう。

(2) 4年間の体育履修においてすべて「よい」と評価された者と1度でも「おとる」と評価された者のプロフィールの比較

「授業効果に関する調査」においては、すべての質問項目に対して「非常にあてはまる」から「まったくあてはまらない」までの5段階で回答させている。「大学体育研究第6号」での第1次報告によって、ほとんどすべての項目において正規分布することが確認されている。そこで、それぞれの項目において、「非常によくあてはまる」に5点、「あてはまる」に4点、「どちらともいえない」に3点、「あ

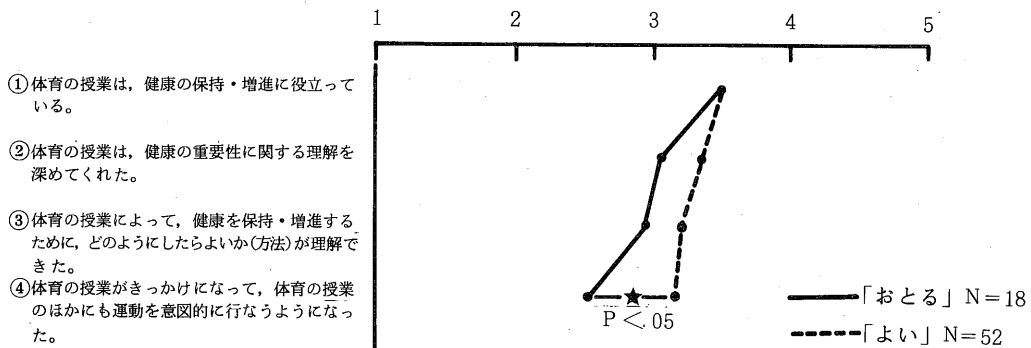


図4 健康に関するプロフィールの比較

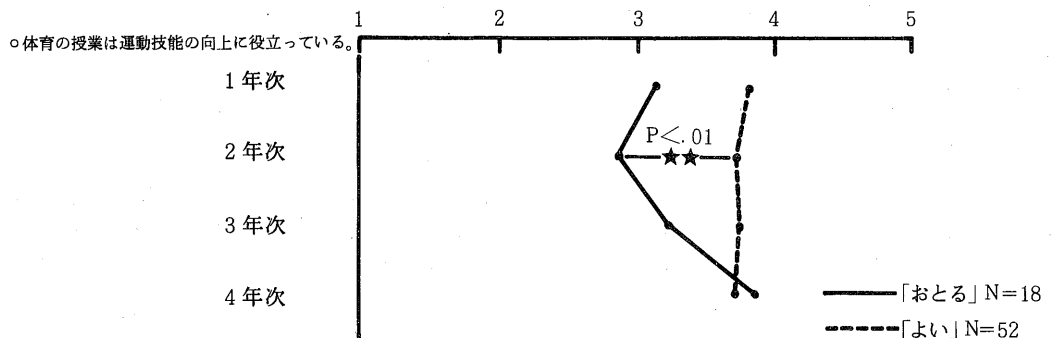


図5 運動技能に関するプロフィールの比較

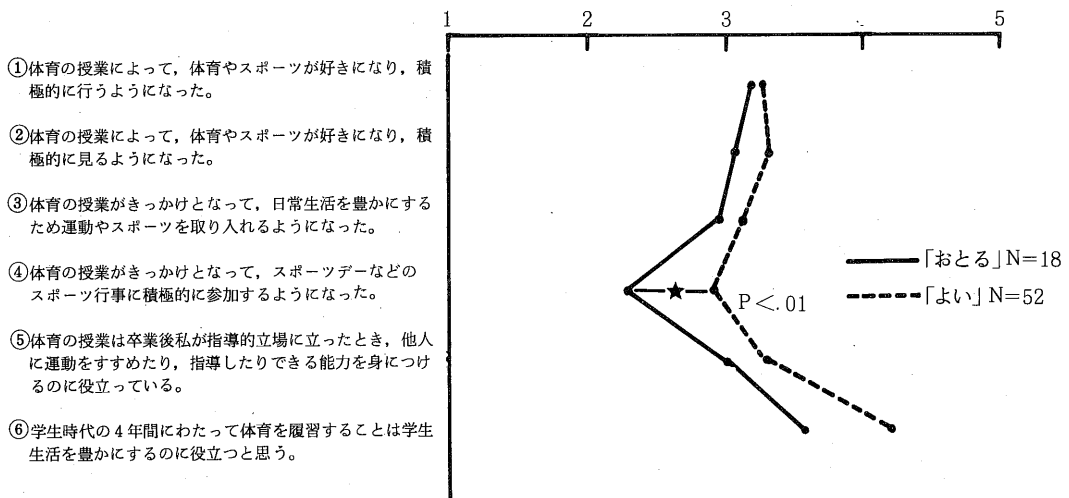


図6 生涯体育に関するプロフィールの比較

まりあてはまらない」に2点、「まったくはてはまらない」に1点を与え、数量化し、t検定を行った。

図4～図6は、4年間の体育履修の成績評価がすべて「よい」と評価された者と、4年間で1度でも「おとる」と評価された者の授業効果に対する意識のプロフィールを描いたものである。

図4は、健康に関するプロフィールの比較である。①「体育の授業は、健康の保持・増進に役立っている。」においては、ともに3.5と同じ値を示しているが、②重要性の理解、③方法の理解、そして、④運動実践のレベルにおいては、除々にその差が広がっている。特に、④運動実践のレベルにおいては、すべて「よい」と評価された者は3.2、「おとる」と評価された者は2.5であり、有意な差がみられた。

図5の年次ごとの運動技能に関するプロフィールの比較では、すべて「よい」と評価された者は、1～4年次の受講科目について、ほぼ3.8前後の値を示しているが、「おとる」と評価されたことのある者は、1年次の科目では3.2であるが、2年次の科目では2.9と低下し、3年次の科目においては3.3と上昇し、4年次の科目においてはすべて「よい」と評価された群の3.8を上回る3.9であった。このことは、技能向上を判断する基準が、各個人によって相違していることによるものである部分も十分考慮しなくてはならないが、4年間体育履修において、「おとる」と評価された者に運動技能が向上したと意識できる者がかなり存在していることを示しているといえよう。

図6は、生涯体育にかかわるプロフィールの比較である。すべての項目において、すべて「よい」と評価された者が、「おとる」と評価された者を上回る値を示している。特に④「体育の授業がきっかけとなって、スポーツデーなどのスポーツ行事に積極的に参加す

るようになった。」においては、「よい」と評価された者は2.9、「おとる」と評価された者は2.3であり、有意な差が見られた。このことは、前述した図3や図4と同様の傾向であり、低い評価を受けた者には、授業がきっかけとなる自主的活動があまりないことを示しているのいえよう。

#### IV まとめ

正課体育における成績評価の実態および成績評価と授業効果に対する学生の意識を検討し、次のような結果を得た。

1) 定時コースを4年間にわたって履修してきた者の成績評価の累積をみると、「よい」が63.3%、「ふつう」25.7%であり、全体の約9割の者が「よい」か「ふつう」の成績評価を受けていた。

2) 定時コースにおける4年間の成績評価の変化をみてみると、1年次では「よい」「ふつう」と成績評価された者が95%であった。2年次になると、「よい」「ふつう」の割合が減少し、「ややおとる」「おとる」の割合が多くなってきている。3年次になると、「よい」の割合がさらに減少し、「ふつう」「ややおとる」の割合が増加している。しかし、4年次になると「よい」の割合が1年次について高くなっている。

3) 日常での運動実践への授業効果について「よい」と評価された者・「ふつう」と評価された者・「ややおとる」と評価された者、それぞれが示す肯定的な割合は、全体的にみて運動実践の場が、個人で、集団への参加、スポーツ行事への参加と具体的レベルになるにしたがって減少している。特に「ややおとる」と評価された者は、具体的なプログラム参加への状況について、まったく肯定的な応答がなされていない。

4) 「よい」と評価された者の中には、卒業後、授業で修得した技能等を回りの人々で生かしていきたいという志向が他の評価を

受けた者よりも強い。

5) 技能の向上への授業効果に関して、4年間すべて「よい」の評価された者は、1～4年次においてほぼ一定して3.8前後の値を示している。「おとる」と評価された者は、2年次では値が低下するが、3年次・4年次では値が上昇し、4年次ではすべて「よい」と評価された者を上回る値に示している。

以上のことにより、大学正課体育の成績評価においては、「よい」および「ふつう」の占める割合が多いこと、「よい」と評価された者には授業効果に関する肯定的な応答が多いことが明らかにされた。しかし、「ややおとる」と評価された者の中には、否定的な応答が多い項目もあり、今後、これらの者に対する対応を検討していく必要があろう。

## 参 考 文 献

- 1) 浅田隆夫；正課体育に関する調査，大学体育研究（筑波大学体育センター編），No 1，1～6（附属資料），1979.
- 2) 橋本重治；教育評価法総説，金子書房，1966.
- 3) 広橋義敬；スポーツ教育における評価，日本スポーツ教育学会第4回大会発表資料，スポーツ教育学研究，No 4-1，1984.
- 4) 海野 孝，佐藤 靖；4年間の体育授業を通しての意識の変化，大学体育研究，No 2，54-64，1981.
- 5) 海野 孝他；大学正課体育における授業効果に関する調査研究，大学体育研究，No 6，105-124，1984.
- 6) 梶田穀一；教育における評価の理論，188-197，金子書房，1979.
- 7) 前川峯雄，江橋愼四郎；体育科教育法，295-310，杏林舎，1975.
- 8) 松田岩男，宇土正彦；体育科教育法，大修館書店，1978.
- 9) 水野忠文；体育教育の原理，東京大学出版会，1973.
- 10) 筑波大学；昭和58年度履修要覧，8-9，1983.
- 11) 筑波大学；昭和58年度履修要覧，37，1983.



## 体育授業の効果に関する調査

この調査は、みなさんが筑波大学において受講している正課体育の授業の効果についてどのような意識をもっているかをとらえ、今後の正課体育授業のあり方を検討していくための基礎的資料を得ようとするものです。調査は、大きくⅠ.体育授業の目標に関する現在の状態に関するものとⅡ.体育の効果に関するものの二部に分かれています。Ⅰでは、体育授業の目標としての健康の保持・増進、体力の向上、運動技能の習得、社会的態度や能力の育成、生涯体育の基礎づくりなどに関してみなさんが「現在どのような状態にあるか」について聞いています。Ⅱでは、筑波大学入学後、みなさんの受講した「正課体育授業の効果がどうか」を上記した目標に関して聞いています。

上で述べた本調査の趣旨を理解して、どうぞありのまま質問に答えてください。なお、本調査結果とこれまでにみなさんが行った体力・運動能力テストや運動生活に関する調査の結果との関連をとらえるために、学籍番号を記入してもらうことにしますが、回答結果はすべて統計的に処理され、個人に迷惑をかけることはありません。

○下記のコード表から該当するものを選び、コラムに記入してください。

	学 籍 番 号					学群	学類	学年	性別	年齢
1										

カード1枚目 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬

## コード表

・学 群	1. 第一	2. 第二	3. 第三	4. 医学	5. 体育	6. 芸術
・学 類	1. 人文	2. 社会	3. 自然			
	1. 比文	2. 人間	3. 生物	4. 農林		
	1. 社工	2. 情報	3. 基工	4. 国際関係		
・学 年	1. 1年	2. 2年	3. 3年	4. 4年		
・性 別	1. 男	2. 女				
・年 齢	(昭和58年4月1日現在の満年齢)					
	1. 18歳	2. 19歳	3. 20歳	4. 21歳	5. 22歳	
	6. 23歳	7. 24歳	8. 25歳	9. 26歳以上		

○筑波大学での生活活動全体の中で、現在のあなたは「意図的な運動」をどのように行っていますか。正課体育の授業で運動することを除いて、次の4つのうち自分に当てはまるものを選び、右のコラムへ記入してください。

- 1 体育系の課外活動団体（運動部、同好会）に所属して運動している。
- 2 自由時間に運動の施設や用具を利用して、自由なやり方で運動を楽しんでいる。
- 3 スポーツデーやスポーツ教室などの体育的なプログラムに参加して運動している。
- 4 現在は、正課体育の授業以外には意図的な運動をほとんど行っていない。

☐ ⑭

## Ⅰ. 体育授業の目標に関する現在の状態

本調査という体育授業とは、筑波大学における正課体育授業のことで、中学校や高校における体育授業をさすものではありません。

質問には、特に指示がない限り、質問の文章をよく読んで、自分に当てはまるか否かを解答欄から選び、その番号を右のコラムへ記入してください。

## 1. 健康

- ① 私は、現在、病気をしない、疲労の回復が早い、精神的ストレスに耐えられる、情緒が安定しているなど身体的・精神的に健康な状態にあると思う。

- ( 5. 非常によく当てはまる      4. 当てはまる      3. どちらとも言えない )  
 ( 2. あまり当てはまらない      1. まったく当てはまらない )

☐ ⑮

② 健康の重要性について十分理解できている。

- ( 5. 非常によく当てはまる      4. 当てはまる      3. どちらとも言えない )  
2. あまり当てはまらない      1. まったく当てはまらない )

☐ 16

③ 健康を保持・増進するために、どのようにしたらよいか(方法)を理解している。

- ( 5. 非常によく当てはまる      4. 当てはまる      3. どちらとも言えない )  
2. あまり当てはまらない      1. まったく当てはまらない )

☐ 17

④ 健康を保持・増進するために、体育の授業のほかにも運動を意図的に行っている。

- ( 5. 非常によく当てはまる      4. 当てはまる      3. どちらとも言えない )  
2. あまり当てはまらない      1. まったく当てはまらない )

☐ 18

⑤ 健康を保持・増進するために、今後(4年生は卒業後)、自主的に運動を行っていくつもりである。

- ( 5. 非常によく当てはまる      4. 当てはまる      3. どちらとも言えない )  
2. あまり当てはまらない      1. まったく当てはまらない )

☐ 19

## 2. 体 力

ここでいう体力とは、俗にいう無理をしても病気になることや徹夜をしても平気であることなどを意味するのではなく、スポーツ活動などにおける行動体力のことです。

① 体力があると思う。(この質問では、次の体力要素ごとに答えてください)

- ( 5. 非常によく当てはまる      4. 当てはまる      3. どちらとも言えない )  
2. あまり当てはまらない      1. まったく当てはまらない )

- a 力やパワーがある。  
b スピードがある。  
c 持久力があり、スタミナがある。  
d 調整力があり、器用である。

☐ 20  
☐ 21  
☐ 22  
☐ 23

② 大学入学後、体力は向上した。(この質問では、次の体力要素ごとに答えてください)

- ( 5. 非常によく当てはまる      4. 当てはまる      3. どちらとも言えない )  
2. あまり当てはまらない      1. まったく当てはまらない )

- a 力やパワーが向上した。  
b スピードが向上した。  
c 持久力やスタミナが向上した。  
d 器用さが向上した。

☐ 24  
☐ 25  
☐ 26  
☐ 27

③ 体力の重要性について十分理解できている。

- ( 5. 非常によく当てはまる      4. 当てはまる      3. どちらとも言えない )  
2. あまり当てはまらない      1. まったく当てはまらない )

☐ 28

④ 体力の維持・向上をはかるために、どのようにしたらよいか(方法)を理解している。

- ( 5. 非常によく当てはまる      4. 当てはまる      3. どちらとも言えない )  
2. あまり当てはまらない      1. まったく当てはまらない )

☐ 29

⑤ 体力の維持・向上をはかるために、体育の授業のほかにも意図的に運動を行っている。

- ( 5. 非常によく当てはまる      4. 当てはまる      3. どちらとも言えない )  
2. あまり当てはまらない      1. まったく当てはまらない )

☐ 30

⑥ 体力の維持・向上をはかるために、今後(4年生は卒業後)、自主的に運動を行っていくつもりである。

- ( 5. 非常によく当てはまる      4. 当てはまる      3. どちらとも言えない )  
2. あまり当てはまらない      1. まったく当てはまらない )

☐ 31

⑦ 大学入学後、形態(身長、体重、皮脂肪、腕の太さ、大腿の太さなど)に望ましくない変化があった。

- ( 5. 非常によく当てはまる      4. 当てはまる      3. どちらとも言えない )  
2. あまり当てはまらない      1. まったく当てはまらない )

☐ 32

- ⑧ 体重のわりに力がない、腕は太いが、腕のパワーに劣るというようなことはなく、形態と体力のバランスがとれている。

( 5. 非常によく当てはまる      4. 当てはまる      3. どちらとも言えない )  
( 2. あまり当てはまらない      1. まったく当てはまらない )

☐ 33

### 3. 運動技能

- ① 楽しめる程度の技能水準にあるスポーツがいくつかある。

( 5. 非常によく当てはまる      4. 当てはまる      3. どちらとも言えない )  
( 2. あまり当てはまらない      1. まったく当てはまらない )

☐ 34

- ② 大学入学後、運動技能（以後、単に技能とよぶ）は向上した、あるいは楽しめるスポーツが増えた。

( 5. 非常によく当てはまる      4. 当てはまる      3. どちらとも言えない )  
( 2. あまり当てはまらない      1. まったく当てはまらない )

☐ 35

- ③ 技能の向上をはかるための練習法や指導法を理解している。

( 5. 非常によく当てはまる      4. 当てはまる      3. どちらとも言えない )  
( 2. あまり当てはまらない      1. まったく当てはまらない )

☐ 36

- ④ 技能の向上をはかるために、体育の授業のほかにも自主的に練習を行っている。

( 5. 非常によく当てはまる      4. 当てはまる      3. どちらとも言えない )  
( 2. あまり当てはまらない      1. まったく当てはまらない )

☐ 37

- ⑤ 技能の向上をはかるために、今後（４年生は卒業後）、自主的に練習を行っていくつもりである。

( 5. 非常によく当てはまる      4. 当てはまる      3. どちらとも言えない )  
( 2. あまり当てはまらない      1. まったく当てはまらない )

☐ 38

- ⑥ 現在まで受講した科目のルールや審判法などの理解ができています。

( 5. 非常によく当てはまる      4. 当てはまる      3. どちらとも言えない )  
( 2. あまり当てはまらない      1. まったく当てはまらない )

☐ 39

- ⑦ 自分や他人の運動の良し悪しを判断できる。

( 5. 非常によく当てはまる      4. 当てはまる      3. どちらとも言えない )  
( 2. あまり当てはまらない      1. まったく当てはまらない )

☐ 40

- ⑧ 準備運動、用器具や運動場所の整備など運動を安全に行っていくための知識や態度を身につけている。

( 5. 非常によく当てはまる      4. 当てはまる      3. どちらとも言えない )  
( 2. あまり当てはまらない      1. まったく当てはまらない )

☐ 41

### 4. 社会性

- ① フェアプレー、ルールを守る、対戦相手を尊重するなどのスポーツにおけるマナーを理解し、それを実践することができる。

( 5. 非常によく当てはまる      4. 当てはまる      3. どちらとも言えない )  
( 2. あまり当てはまらない      1. まったく当てはまらない )

☐ 42

- ② スポーツ活動に際して仲間と協力したり、チームやグループにおける自分の責任をはたすことができる。

( 5. 非常によく当てはまる      4. 当てはまる      3. どちらとも言えない )  
( 2. あまり当てはまらない      1. まったく当てはまらない )

☐ 43

- ③ 運動やスポーツをする人々の集りに積極的に参加している。

( 5. 非常によく当てはまる      4. 当てはまる      3. どちらとも言えない )  
( 2. あまり当てはまらない      1. まったく当てはまらない )

☐ 44

- ④ 準備運動の指示や練習・試合などの進行ができる。

( 5. 非常によく当てはまる      4. 当てはまる      3. どちらとも言えない )  
( 2. あまり当てはまらない      1. まったく当てはまらない )

☐ 45

⑤ 卒業後、指導的立場に立ったとき、健康の保持・増進、レクリエーションなどの目的で他人に運動やスポーツをすすめたり、指導したりすることができる。

- ( 5. 非常によく当てはまる      4. 当てはまる      3. どちらとも言えない )  
 ( 2. あまり当てはまらない      1. まったく当てはまらない )

☐ 46

## 5. 生涯体育

① 体育やスポーツについての興味や関心がある。

- ( 5. 非常によく当てはまる      4. 当てはまる      3. どちらとも言えない )  
 ( 2. あまり当てはまらない      1. まったく当てはまらない )

☐ 47

② 日常生活を豊かにするために運動やスポーツを取り入れている。

- ( 5. 非常によく当てはまる      4. 当てはまる      3. どちらとも言えない )  
 ( 2. あまり当てはまらない      1. まったく当てはまらない )

☐ 48

③ スポーツを見ることが好きである。

- ( 5. 非常によく当てはまる      4. 当てはまる      3. どちらとも言えない )  
 ( 2. あまり当てはまらない      1. まったく当てはまらない )

☐ 49

④ スポーツデーなどのスポーツ行事に積極的に参加している。

- ( 5. 非常によく当てはまる      4. 当てはまる      3. どちらとも言えない )  
 ( 2. あまり当てはまらない      1. まったく当てはまらない )

☐ 50

⑤ スポーツデーなどのスポーツ行事に今後（４年生は卒業後）積極的に参加するつもりである。

- ( 5. 非常によく当てはまる      4. 当てはまる      3. どちらとも言えない )  
 ( 2. あまり当てはまらない      1. まったく当てはまらない )

☐ 51

学 籍 番 号				
2				

カード2枚目      ①    ②    ③    ④    ⑤    ⑥    ⑦

## II. 体育授業の効果

### 1. 健康

① 体育の授業は、健康の保持・増進に役立っている。

- ( 5. 非常によく当てはまる      4. 当てはまる      3. どちらとも言えない )  
 ( 2. あまり当てはまらない      1. まったく当てはまらない )

☐ 8

② 体育の授業は、健康の重要性に関する理解を深めてくれた。

- ( 5. 非常によく当てはまる      4. 当てはまる      3. どちらとも言えない )  
 ( 2. あまり当てはまらない      1. まったく当てはまらない )

☐ 9

③ 体育の授業によって、健康を保持・増進するために、どのようにしたらよいか（方法）が理解できた。

- ( 5. 非常によく当てはまる      4. 当てはまる      3. どちらとも言えない )  
 ( 2. あまり当てはまらない      1. まったく当てはまらない )

☐ 10

④ 体育の授業がきっかけになって、体育の授業のほかにも運動を意図的に行うようになった。

- ( 5. 非常によく当てはまる      4. 当てはまる      3. どちらとも言えない )  
 ( 2. あまり当てはまらない      1. まったく当てはまらない )

☐ 11

## 2. 体 力

① 体育の授業は、体力を向上させるために役立っている。(この質問では、次の体力要素ごとに答えてください。)

- ( 5. 非常によく当てはまる    4. 当てはまる    3. どちらとも言えない )  
( 2. あまり当てはまらない    1. まったく当てはまらない )

a 力やパワーの向上に役立っている。

b スピードの向上に役立っている。

c 持久力やスタミナの向上に役立っている。

d 調整力や器用さの向上に役立っている。

	12
	13
	14
	15

② 体育の授業は、体力の重要性に関する理解を深めてくれた。

- ( 5. 非常によく当てはまる    4. 当てはまる    3. どちらとも言えない )  
( 2. あまり当てはまらない    1. まったく当てはまらない )

	16
--	----

③ 体育の授業によって、体力の維持・向上をはかるために、どのようにしたらよいか(方法)が理解できた。

- ( 5. 非常によく当てはまる    4. 当てはまる    3. どちらとも言えない )  
( 2. あまり当てはまらない    1. まったく当てはまらない )

	17
--	----

④ 体育の授業がきっかけとなって、体力の維持・向上をはかるために、体育の授業のほかにも意図的に運動を行うようになった。

- ( 5. 非常によく当てはまる    4. 当てはまる    3. どちらとも言えない )  
( 2. あまり当てはまらない    1. まったく当てはまらない )

	18
--	----

⑤ 体育の授業は、形態(体重、皮脂厚など)の望ましくない変化の防止に役立っている。

- ( 5. 非常によく当てはまる    4. 当てはまる    3. どちらとも言えない )  
( 2. あまり当てはまらない    1. まったく当てはまらない )

	19
--	----

## 3. 運動技能

① 体育の授業は、運動技能の向上に役立っている。(この質問では、まずコード表から各学年で受講した科目を1つだけ選び、その番号をコラムに記入してください。そして、その科目について当てはまるものをいちばん右のコラムに記入してください。なお、1, 2, 3年生で該当する学年に達していないときは、科目のコラムには99を、解答欄には9を記入してください。)

a 1年生のときの受講科目について

- ( 5. 非常によく当てはまる    4. 当てはまる    3. どちらとも言えない )  
( 2. あまり当てはまらない    1. まったく当てはまらない )

受講科目

20	21	22

b 2年生のときの受講科目について

- ( 5. 非常によく当てはまる    4. 当てはまる    3. どちらとも言えない )  
( 2. あまり当てはまらない    1. まったく当てはまらない )

23	24	25

c 3年生のときの受講科目について

- ( 5. 非常によく当てはまる    4. 当てはまる    3. どちらとも言えない )  
( 2. あまり当てはまらない    1. まったく当てはまらない )

26	27	28

d 4年生のときの受講科目について

- ( 5. 非常によく当てはまる    4. 当てはまる    3. どちらとも言えない )  
( 2. あまり当てはまらない    1. まったく当てはまらない )

29	30	31

### コード表

1. 体操トレーニング	8. ゴ ル フ	15. ラグビー	22. バドミントン
2. 陸上運動	9. ライフル射撃	16. バスケットボール	23. 卓球
3. 基本運動	10. 弓道	17. バレーボール	24. トリム運動
4. 器械運動	11. 柔道	18. ハンドボール	25. ヨット
5. 水泳	12. 剣道	19. 野球	26. ボート
6. オリエンテーリング	13. 空手	20. ソフトボール	27. ウインドサーフィン
7. サイクリング	14. サッカー	21. 硬式テニス	99. なし

② 体育の授業は、技能を向上させるための練習法や指導法に関する理解を深めてくれた。

- ( 5. 非常によく当てはまる      4. 当てはまる      3. どちらとも言えない )  
( 2. あまり当てはまらない      1. まったく当てはまらない )

☐ 32

③ 体育の授業がきっかけとなって、技能を向上させるために、自主的に練習を行うようになった。

- ( 5. 非常によく当てはまる      4. 当てはまる      3. どちらとも言えない )  
( 2. あまり当てはまらない      1. まったく当てはまらない )

☐ 33

④ 体育の授業は、受講した種目のルールや審判法などの理解を深めてくれた。

- ( 5. 非常によく当てはまる      4. 当てはまる      3. どちらとも言えない )  
( 2. あまり当てはまらない      1. まったく当てはまらない )

☐ 34

⑤ 体育の授業によって、自分や他人の運動の良し悪しを判断できるようになった。

- ( 5. 非常によく当てはまる      4. 当てはまる      3. どちらとも言えない )  
( 2. あまり当てはまらない      1. まったく当てはまらない )

☐ 35

⑥ 体育の授業は、準備運動、用器具や運動場所の整備など運動を安全に行っていくための知識や態度を身につけるのに役立っている。

- ( 5. 非常によく当てはまる      4. 当てはまる      3. どちらとも言えない )  
( 2. あまり当てはまらない      1. まったく当てはまらない )

☐ 36

#### 4. 社会性

① 体育の授業は、スポーツにおけるマナーの理解を深め、それを実践する態度を形成するのに役立っている。

- ( 5. 非常によく当てはまる      4. 当てはまる      3. どちらとも言えない )  
( 2. あまり当てはまらない      1. まったく当てはまらない )

☐ 37

② 体育の授業によって、スポーツ活動に際して仲間と協力したり、チームやグループにおける自分の責任をはたすことができるようになった。

- ( 5. 非常によく当てはまる      4. 当てはまる      3. どちらとも言えない )  
( 2. あまり当てはまらない      1. まったく当てはまらない )

☐ 38

③ 体育の授業がきっかけとなって、運動やスポーツをする人々の集りに積極的に参加するようになった。

- ( 5. 非常によく当てはまる      4. 当てはまる      3. どちらとも言えない )  
( 2. あまり当てはまらない      1. まったく当てはまらない )

☐ 39

④ 体育の授業によって、準備運動などの指示や練習・試合などの進行ができるようになった。

- ( 5. 非常によく当てはまる      4. 当てはまる      3. どちらとも言えない )  
( 2. あまり当てはまらない      1. まったく当てはまらない )

☐ 40

#### 5. 生涯体育

① 体育の授業によって、体育やスポーツが好きになり、積極的に行うようになった。

- ( 5. 非常によく当てはまる      4. 当てはまる      3. どちらとも言えない )  
( 2. あまり当てはまらない      1. まったく当てはまらない )

☐ 41

② 体育の授業によって、体育やスポーツが好きになり、積極的に見るようになった（試合を実際に観戦する、テレビ・新聞を見るなどを含む）。

- ( 5. 非常によく当てはまる      4. 当てはまる      3. どちらとも言えない )  
( 2. あまり当てはまらない      1. まったく当てはまらない )

☐ 42

③ 体育の授業がきっかけとなって、日常生活を豊かにするために運動やスポーツを取り入れるようになった。

- ( 5. 非常によく当てはまる      4. 当てはまる      3. どちらとも言えない )  
( 2. あまり当てはまらない      1. まったく当てはまらない )

☐ 43

④ 体育の授業がきっかけとなって、スポーツデーなどのスポーツ行事に積極的に参加するようになった。

- ( 5. 非常によく当てはまる      4. 当てはまる      3. どちらとも言えない )  
( 2. あまり当てはまらない      1. まったく当てはまらない )

☐ 44

⑤ 体育の授業は、卒業後私が指導的立場に立ったとき、健康の保持・増進、レクリエーションなどの目的で他人に運動やスポーツをすすめたり、指導したりできる能力を身につけるのに役立っている。

- ( 5. 非常によく当てはまる      4. 当てはまる      3. どちらとも言えない )  
2. あまり当てはまらない      1. まったく当てはまらない )

 45

⑥ 学生時代の4年間にわたって体育を履習することは、学生生活を豊かにするのに役立つと思う。

- ( 5. 非常によく当てはまる      4. 当てはまる      3. どちらとも言えない )  
2. あまり当てはまらない      1. まったく当てはまらない )

 46